



G7環境相会合で各国代表が日本企業の水素技術を視察 水素製造における国際協力にも期待

4月15日、16日に札幌でG7気候・エネルギー・環境大臣会合が開催されました。会合閉幕後の共同声明には、水素やアンモニアが様々な分野・産業、さらに電力部門において脱炭素化に貢献することができると明記されています。

この会合では日本企業による水素やアンモニアを用いた技術が紹介され、西村経済産業相が各国の閣僚らとともに展示ブースを訪れて技術説明を受けました。

トヨタは燃料電池車（FCV）技術を活かして開発した、水を電気分解して水素を製造する「低コスト水電解装置」を展示しました。再生可能エネルギーを用いることで、製造工程で二酸化炭素（CO2）が発生しない「グリーン水素」を作ることができ、すでに国内で導入されています。

また、一部の閣僚らは小樽市で川崎重工業が建造した世界初の液化水素運搬船を視察しました。この水素運搬船では超低温技術を用いて水素の体積を800分の1に減少させることで、水素の大量輸送が可能になります。水素の輸送技術の確立が課題とされている中で、米エネルギー省のグランホルム長官はこの技術を高く評価して、日本向け水素輸出についての意欲を示しました。

さらに、グランホルム長官は水素の製造コストの低減についても各国と協力したい考えを表しました。日本政府も今後15年間で15兆円を投資して水素を普及させることを表明しており、水素製造における再生可能エネルギーを利用とコストを低減において各国との協力が期待されます。



写真上：G7広島サミット公式ホームページより
写真下：川崎重工グループホームページより



おすすめ!

Collagen優芳舞(コラーゲンユーハーブ)

Collagen優芳舞は他のコラーゲンと何が違うの？



一般的なコラーゲンは体内に吸収されやすいように、低分子化されています。コラーゲン分子は大きいため、腸から吸収されやすくするためには、小さくする必要があります。これは足りていないコラーゲンを体の外から補いやすくする、という考え方によるものです。

これに対してCollagen優芳舞は体の外からコラーゲンを補うという考え方にプラスして、体の内からコラーゲンを補うという考え方をしています。そのために、体内の自身のコラーゲン合成を高める作用のある成分を配合しています。

また、コラーゲンは活性酸素を無毒化する水素吸入との相性がいいので、水素吸入されている方には特におすすめです。

編集後記

ついに新型コロナウイルスが「5類」の感染症に移行となりました。これによって行動制限がなくなり、感染対策は個人の判断になります。これに先立って日本入国の水際対策が終了し、街では多くの外国人観光客の姿を見かけるようになりました。ようやく元の生活を取り戻しつつある中、弊社では皆様さらに健康に過ごしていくためのお手伝いができればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



MINTECH
水素発生器
MT-A100

MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒136-0071

東京都江東区亀戸1-38-6-1501

TEL 03-5812-4560

FAX 03-6284-2257

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/